

令和6 (2024) 年度 東京大学大学院情報理工学系研究科 博士後期課程[社会人特別選抜] 学生募集要項 (令和5 (2023) 年10月入学・令和6 (2024) 年4月入学)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応等により、本募集要項の内容を変更する可能性がある。その場合は以下の本研究科の入試情報ウェブページに掲示するので、随時、確認すること。
(入試情報ウェブページ <https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/entra/index.shtml>)

この社会人特別選抜は、情報理工学系の諸分野にかかわる高度な専門性を備えた人材の育成という本研究科博士後期課程の目的にそって、職業経験を有する多様な社会的背景をもつ学生を受け入れることの重要性和、その社会的要請を認識し、通常の選抜とは異なる選抜を実施するものである。本選抜により入学した者の入学後の教育は一般の学生と同様であるが、本研究科においては、職業経験を通して研究業績を持つ者については、それを課程修了のための研究業績に含めることも場合によっては認めている。これを希望する場合には受験する専攻に予め確認すること。
なお、社会人も通常の選抜による入学試験を受験することができる(別に用意した博士後期課程学生募集要項を参照すること)。

教育研究上の目的

本研究科は、情報理工学の体系的知識を身につけ科学的手法を追究して情報科学技術に関わる研究や開発を主導することのできる人材を養成し、情報理工学の発展に貢献することを目的とする。

求める学生像

情報理工学に関する深い洞察力を持ち、国際的な場での活躍に必要な能力を備え、未踏の分野を創り出し、未来を切り拓く強い意欲と実力を持つ人。

入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

1. 東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程は、専門分野に関する学識をもち、社会の発展に貢献するため、自らが専門的研究の一翼を担おうという使命感を持ち、情報理工学の分野で卓越した知を創出することのできる学生を求める。
2. 入学者選抜においては、以下の点を満たしていることを、書類選考、筆記試験、口述試験等を通して総合的に評価する。
 - ・志望分野に関する専門的知識とともに、情報理工学の研究を通じ学術の進展に寄与する能力を有していること。
 - ・社会のニーズを踏まえて先駆的な研究課題を自ら設定することができ、情報理工学に係る学識に基づいて課題の解決に取り組む能力を有していること。
 - ・グローバルな場で活躍するための語学能力と、将来社会の発展に貢献し得る資質を具備していること。

1. 出願資格

出願者は、下記のいずれかの資格を満たすとともに、出願時までには職業経験を有していることを必要とする。

- (1) 日本の大学において修士の学位又は専門職学位を得た者(注1)(注5)
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により修士の学位を授与された者(注5)
- (3) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(注2)(注5)
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(注5)
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者(注5)
- (6) 外国の学校、上記出願資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学において、大学院設置基準第16条の2に規定する博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者(注3)(注5)
- (7) 日本の大学を卒業又は外国において学校教育における16年の課程を修了した者で、日本又は外国の大学若しくは研究所等において2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者(注1)(注2)(注3)(注5)
- (8) 個別の入学資格審査をもって、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、令和6(2024)年3月31日において24歳に達している者(注4)(注5)

(注1) 上記(1)、(7)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

(注2) 上記(3)、(7)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

(注3) 上記(6)又は(7)に該当する者は、本研究科の指定する書類を、夏入試(下記5.(2)を参照)は令和5(2023)年5月17日(水)まで、冬入試(下記5.(2)を参照)は令和5(2023)年11月1日(水)までに本研究科入試担当(下記10.)に提出すること。提出書類等については、事前に問い合わせること。

(注4) ① 上記(8)に該当する者とは、上記(1)から(7)に該当しない者のうち、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者を示す。

② 上記(8)の資格により出願しようとする者については、出願前に書類による個別の入学資格審査を行うので、本研究科の指定する書類を、夏入試は令和5(2023)年5月17日(水)まで、冬入試は令和5(2023)年11月1日(水)までに本研究科入試担当(下記10.)に提出すること。提出書類等については、事前に問い合わせること。

③ 入学資格審査で修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者について出願を受け付け、受験を許可する。

(注5) 令和6(2024)年4月入学のほかに、専攻によっては、令和5(2023)年10月入学を認めることがある。令和5(2023)年10月入学を希望する者は、入学願書にその旨記入すること。

また、その場合は出願資格(上記1.(8))の「令和6(2024)年3月31日」は「令和5(2023)年9月30日」に読み替えること。

2. 選抜方法

入学者の選抜は、第1次試験及び第2次試験による。

第1次試験における選抜は、筆記試験、口述試験及び提出書類による。第2次試験においては、修士の学位論文又はこれに代わるもの並びに業績等についての試験を行う。

筆記試験、口述試験、提出書類及び修士の学位論文又はこれに代わるもの並びに業績等を総合的に判定し、選抜する。

(注) 専攻によって選抜方法が異なる場合があるので、希望する専攻の入試案内書を合わせて参照すること。

3. 試験期日及び場所

(1) 入学試験は、夏入試と冬入試の年2回行う。

(2) 夏入試は、令和5(2023)年8月21日(月)から8月28日(月)の間に、第1次試験と第2次試験をあわせて行う。試験は原則試験会場（東京大学本郷キャンパス）で実施するが、オンラインで実施する場合がある。試験期日等を含めた詳しい実施方法やオンライン試験への振り替え方法については、本研究科の入試情報ウェブページ、及び各専攻の入試案内書を参照し、必要に応じて「令和6(2024)年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試 オンライン試験への振替申請書」を提出すること。オンライン試験への振り替えの可否は、出願時の申請については受験票送付時に、その後の申請については個別に受験者に通知する。

(3) 冬入試は、令和6(2024)年1月下旬から2月中旬の間に、第1次試験と第2次試験をあわせて行う。試験は原則試験会場で実施するが、夏入試同様、オンラインで実施する場合がある。試験期日等を含めた詳しい実施方法やオンライン試験への振り替え方法については、本研究科の入試情報ウェブページ、及び各専攻の入試案内書を参照し、必要に応じて「令和6(2024)年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試 オンライン試験への振替申請書」を提出すること。オンライン試験への振り替えの可否は、出願時の申請については受験票送付時に、その後の申請については個別に受験者に通知する。

(4) 上述のすべての試験に関して、試験会場における受験を予定する者について、直前の健康状態に応じて急遽オンライン受験への振り替えを指示する場合がある。「会場筆記試験受験要領」を参照し、その指示に従うこと。

4. 専攻別筆記・口述試験科目及び募集人員

以下の表は、夏入試の試験科目等を示すものである。

試験科目の詳細については、夏入試・冬入試とも、必ず、各専攻の入試案内書で確認すること。

専攻名	外国語	専門科目	口述試験	募集人員
コンピュータ科学	英語 TOEFLの成績を利用する。 筆記試験は行わない。	コンピュータ科学 (対面またはオンライン 筆記試験)	コンピュータ科学 (対面またはオンライン 口述試験)	若干名
数 理 情 報 学		数理情報学 (対面またはオンライン 筆記試験)	数理情報学 (対面またはオンライン 口述試験)	若干名
システム情報学		システム情報学 (対面またはオンライン口述試験)		若干名
電 子 情 報 学		電子情報学 (対面またはオンライン 筆記試験)	電子情報学 (対面またはオンライン 口述試験)	若干名
知能機械情報学		知能機械情報学 (対面またはオンライン口述試験)		若干名
創 造 情 報 学		創造情報学 (対面またはオンライン 筆記試験)	創造情報学 (対面またはオンライン 口述試験)	若干名

備考

- 1) 受験者によっては、各専攻の試験科目の中で免除される科目がある場合があるので、各専攻の入試案内書を参照すること。
- 2) TOEFLの成績提出方法等の詳細は、別紙「令和6(2024)年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試TOEFL成績提出要項」を参照すること。

5. 出願手続

- (1) 入学願書等はWEB出願システムにて作成すること。また、出願に必要な書類は全てPDF化し、WEB出願システムへアップロードすること。詳細は以下の本研究科の入試情報ウェブページ及びWEB出願システム上の指示に従うこと。WEB出願システムは入試情報ウェブページからアクセスすること。

(入試情報ウェブページ <https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/entra/index.shtml>)

- (2) 出願期間

① 夏入試

令和5(2023)年6月2日(金)から6月8日(木)17時(日本時間)

② 冬入試

令和5(2023)年11月15日(水)から11月21日(火)17時(日本時間)

6. 提出書類等

書 類 等	提 出 者	摘 要
入学願書	全員	WEB 出願システムに必要事項を正確に入力し作成すること。 WEB 出願システムの指示に従い、顔写真データ(<u>上半身脱帽、正面向き、無背景、出願前3ヶ月以内に単身で撮影した鮮明なもの</u>)をWEB 出願システムにアップロードすること。顔写真データの形式は、以下のとおりとする。 ・ファイル種別: jpeg 形式 ・サイズ: 縦 308 ピクセル × 横 236 ピクセル 顔写真データは、受験票に使用し、受験時に本人との照合を行うので、画像に加工や修正をしないこと。本人と確認できない場合は失格となる場合があるので注意すること。 なお、顔写真データは、学生証作成の際にも使用する。
出身大学院の 成績証明書 (<u>修了日以後に発行された最終版を提出すること。</u>)	全員	修士課程又は専門職学位課程の成績を証明するもので原本の写し(PDF)をWEB 出願システムにアップロードすること。入学手続き時に原本(紙媒体)を提出すること。 複数ある場合には1つのPDFに結合すること。 日本語又は英語以外の言語で書かれた証明書には、日本語訳又は英語訳を添付すること。
出身大学院の 修了証明書	大学院を修了している者	原本の写し(PDF)をWEB 出願システムにアップロードすること。入学手続き時に原本(紙媒体)を提出すること。 学位が明記されていること。 複数ある場合には1つのPDFに結合すること。 日本語又は英語以外の言語で書かれた証明書には、日本語訳又は英語訳を添付すること。
TOEFL 成績 (Institutional Score Report)	全員(ただし提出を免除された者は除く。提出を免除されるかどうかは各専攻の入試案内書を参照すること。)	別紙「令和6(2024)年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試TOEFL成績提出要項」を参照すること。 該当者は「令和6(2024)年度入試TOEFLスコア未取得連絡書」に記入のうえPDF化し、WEB出願システムにアップロードすること。

業績等の概要	全員	在職中の業績について、志望の専攻の指定する様式にまとめたもの。WEB出願システムにPDFでアップロードすること。
就業証明書等	全員	職業経験を証明できるもの。WEB 出願システムにPDF でアップロードすること。
検定料	全員 (日本政府(文部科学省)奨学金留学生を除く。 ただし、該当者は、日本政府(文部科学省)奨学金留学生である証明書をPDF化し、WEB 出願システムの検定料支払い証明書の項目にアップロードすること。)	30,000円 【銀行振込】又は【コンビニエンスストアでの払込】、【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での払込】若しくは【クレジットカードでの払込】のいずれかに限る。 なお、いずれの場合においても、振込手数料又は払込手数料は、出願者本人の負担となるので留意すること。 ① 銀行振込の場合 WEB出願システムから出力した検定料振込依頼書を用いて、最寄りの金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行不可)から振り込むこと(ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での所定の方法での払込の場合を除き、ATM、インターネット等は利用しないこと)。 振込方法等の詳細は、WEB出願システムから出力した検定料振込依頼書及び注意書を参照すること。 ② 【コンビニエンスストアでの払込】、【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での払込】若しくは【クレジットカードでの払込】の場合 手順や注意事項については、別紙「東京大学大学院情報理工学系研究科 検定料払込方法」を参照すること。
オンライン試験への振替申請書	希望者	別紙「オンライン筆記試験と会場筆記試験の違いに関する注意」をよく読み、別紙「令和6(2024)年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試 オンライン試験への振替申請書」をWEB出願システムの指示に従い作成し提出すること。
安全保障輸出管理チェックシート	外国人 重国籍者（日本の国籍と外国の国籍を有する者） 日本の国籍のみを有する者のうち最終履歴（本研究科入学直前の所属機関）が海外機関の者	WEB出願システムに必要事項を入力し作成すること。
専攻で求める書類	全員	各専攻では、研究計画書など上記以外の書類を求めている。詳細は各専攻の入試案内書を参照のこと。 推薦書(業績評価書)以外の提出書類は、PDF化し、WEB出願システムにアップロードすること。 推薦書(業績評価書)の提出期限及び提出方法については入試情報ウェブページ（出願方法-5. 推薦書（業績評価書）の提出について）を参照のこと。

(注) 日本語又は英語以外の言語で書かれた証明書、文書、資料等には、すべて日本語訳又は英語訳を添付すること。

7. 合格者の発表及び入学手続

(1) 夏入試

①合格者は、令和5(2023)年9月4日(月)15時頃、本研究科ウェブサイト(<https://www.i.u-tokyo.ac.jp/>)に掲示する。

②令和5(2023)年10月入学予定の合格者の入学許可は、「東京大学安全保障輸出管理」の審査を完了したのち、令和5(2023)年9月上旬本人宛に通知する。令和6(2024)年4月入学予定の合格者の入学許可は、「東京大学安全保障輸出管理」の審査を完了したのち、令和5(2023)年10月下旬(予定)までに本人宛に通知する。

(2) 冬入試

①合格者は、令和6(2024)年2月16日(金)15時頃、本研究科ウェブサイトに掲示する。

②合格者の入学許可は、「東京大学安全保障輸出管理」の審査を完了したのち、令和6(2024)年2月下旬本人宛に通知する。

(3) 入学許可の通知を受けた者は、別途送付される入学手続に関する指示に従い、令和5(2023)年10月入学者は、令和5(2023)年9月14日(木)までに、また、令和6(2024)年4月入学者は、令和6(2024)年3月14日(木)までに必要な手続(入学料の納付及び入学手続書類の提出)を行うこと。期限内に入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意すること。入学手続に関する指示は、令和5(2023)年10月入学者に対しては令和5(2023)年9月上旬、令和6(2024)年4月入学者に対しては令和6(2024)年2月下旬にメールにて送付する。

(4) 入学時に必要な経費(令和6(2024)年度)

(日本政府(文部科学省)奨学金留学生に対しては徴収しない。)

①入学料 282,000円

②授業料 前期分 260,400円(年額520,800円)

(注)上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

8. 学生支援制度

本研究科の学生支援制度については以下のウェブページを参照すること。

<https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/financial-support/>

9. 注意事項

- (1) 本研究科の同一期(夏入試又は冬入試)の入学試験においては、同時に2つ以上の専攻に出願することはできない。また、本研究科の知的情報処理英語プログラム特別選抜に出願している者は、冬入試に出願することはできない。
- なお、本研究科の夏入試の入学試験に既に合格している者(第1次試験合格者を含む)は、入学(合格)を辞退することなく、冬入試に出願することはできない。同様に、本研究科の知的情報処理英語プログラム特別選抜に既に合格している者は、入学(合格)を辞退することなく、夏入試に出願することはできない。
- また、他大学及び本学他研究科等と重複して入学することはできない。
- (2) 提出期限までに所定の書類が完備しない願書は受理しない。ただし、TOEFL 成績については別紙「令和6(2024)年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試 TOEFL 成績提出要項」のとおりとする。また、出願手続後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めず、検定料の払い戻しはしない。
- (3) 「受験票」は、出願者本人にメールで送付する。
- ① 夏入試では、令和5(2023)年7月14日(金)までにメールが届かない場合は、必ず本研究科入試担当(下記10.)に連絡し、受験に必要な指示を受けること。
- ② 冬入試では、令和5(2023)年12月18日(月)までにメールが届かない場合は、必ず本研究科入試担当(下記10.)に連絡し、受験に必要な指示を受けること。
- (4) 障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は出願時に本研究科入試担当(下記10.)に申し出ること。
- (5) 外国人は、入学手続までに「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」による、大学院入学に支障のない在留資格を有すること。
- (6) 官公庁、企業及び団体等に在職のまま大学院に入学しようとする者は、入学手続の際に、博士後期課程正規学生として在学することに同意する旨の勤務先の所属長の承諾書(承諾者は上長であれば役職は問わない。)を提出すること。
- (7) 事情によっては、出願手続及び試験期日等について、変更することもある。
- (8) 出願手続後は、どのような事情があっても、書類の返却はしない。
- (9) 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしない。
- (10) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
- (11) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。
- (12) 入学願書における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。
- (13) 災害等により不測の事態が発生した場合、入試に関する情報提供は、本研究科ウェブサイト等で行うので注意すること。

- (14)受験票その他重要な連絡事項については願書に記載されたメールアドレス宛てに送付する。
u-tokyo.ac.jpドメインからのメールは確実に受け取れるようにすると共に、メールの受信の有無を即時に確認できる状態にしておくこと。

10. 問合せ・連絡先

出願に関する問い合わせは電話ではなく電子メールでお送りください。

土日祝日及び平日の9時～17時以外の時間帯は問い合わせへの回答はできません。

出願書類の作成・提出は期限直前ではなく早めに行い、不明点がある場合には出願期限まで余裕をもって問い合わせること。回答には数営業日かかることがあるので、各種期限に余裕をもって問い合わせを行うこと。

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院情報理工学系研究科入試担当

電 話 03-5841-7926 (平日9:00～17:00※土日祝日を除く)

Eメール johoriko.t@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

URL <https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/entra/index.shtml>

令和5(2023)年4月

東京大学では、「外国為替及び外国貿易法(外為法)」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から学生の受入れ前及び在学中に、厳格な安全保障輸出管理を行っています。特に外国人留学生及び一部の日本人学生については、受入れ前の審査を必須としています。

従って、外為法上規制されている事項に該当する場合は、たとえ入学試験の選抜により最終合格しても、その後入学が許可できない場合や、入学後の希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。